年表

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1526（大永6）			
	●この頃、創業		
◆1543（天文12）			
◆1569（永禄12）		8・25	種子島にポルトガル人が漂着
◆1573（元亀4・天正元）			●ルイス・フロイスがフラスコ入りの金平糖を織田信長に献上
	●天正年間に掟書制定（現存せず）		
◆1582（天正10）		7・18	室町幕府滅亡
◆1586（天正14）		6・2	本能寺の変
	●この頃、御所御用を始める		
◆1590（天正18）		1・16	豊臣秀吉が黄金の茶室で正親町天皇に茶の湯を献じる
		11・7	後陽成天皇即位
◆1592（天正20・文禄元）		7・5	豊臣秀吉の天下統一
		8・1	徳川家康が江戸城に入る
◆1600（慶長5）		7・26	京都の御粽司初代川端道喜没
	10・16 妙心寺蔵『正法山誌』に「市豪虎屋」の記述あり		
◆1603（慶長8）		9・15	関ヶ原の戦
		2・12	徳川家康が江戸幕府を開く
			●『日葡辞書』に菓子名の記載多数あり
◆1611（慶長16）			
◆1615（慶長20・元和元）		3・27	後水尾天皇即位
	4・29 塙団右衛門直之（中興初代円仲の義兄）が大坂夏の陣で討ち死に	5・8	大坂夏の陣、豊臣氏滅亡

＊は虎屋黒川家文書

◆1625（寛永2）		
◆1628（寛永5） 5・29　現京都工場・菓寮所在地を買い増しした証文が残る		●『甫庵太閤記』に有平糖、ぽうるほか、南蛮菓子名あり
◆1635（寛永12） 7・11　初代円仲没、2代吉右衛門相続 9・16　後水尾上皇の御所に虎屋・二口屋が菓子を納める（「院御所様行幸之御菓子通」＊）		6・21　大名に参勤交代が義務づけられる
◆1638（寛永15）		
◆1639（寛永16）		●俳諧書『毛吹草』成立。京名物として菓子名多数あり
◆1643（寛永20）		7・5　鎖国完成
◆1648〜52（慶安年間）		●『料理物語』に玉子素麺、葛餅ほか製法記載あり
◆1651（慶安4） 12・6　禁裏より寄宿を免除される		●この頃、浅草の鶴屋が米饅頭を売り出す（『本朝世事談綺』）
◆1652〜55（承応年間）		7・23　慶安事件
◆1657（明暦3） 6・15　3代光成、近江少掾に任ぜられる 12・8　2代吉右衛門没、3代光成相続		●この頃、京都で松屋常盤創業 1・18　江戸で明暦の大火（振袖火事）
◆1658〜61（万治年間）		
◆1671（寛文11） 4・5　3代光成没、4代光清相続 11・―　虎屋の職人庄野市郎右衛門が熊本藩にまねかれ、御用菓子屋扇子屋に「京都御菓子」の製法を伝授		●この頃、寒天の製法が考案される

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1672（寛文12）—			
2・8	5代光冨が近江大掾に任ぜられる		
◆1674（延宝2）—			
	●鐶虎紋の入った井籠の外箱が製作される（現存）		
◆1676（延宝4）—			
	●『日次紀事』に虎屋の記述あり		
◆1683（天和3）—			
◆1684（天和4・貞享元）—			●桔梗屋菓子目録あり（『一話一言』）
	●井原西鶴『諸艶大鑑』に虎屋の羊羹の記述あり		
	●『雍州府志』に虎屋・二口屋ほか京都菓子店の記述あり		
◆1685（貞享2）—			
9・—	『京羽二重』に虎屋の記述あり	7・—	生類憐みの令
◆1687（貞享4）—			
	●大嘗会用の菓子を納める	11・16	大嘗会220年ぶりに再興
◆1688（貞享5・元禄元）—			
5・28	徳川光圀が霊元上皇に虎屋の大饅頭を献上		
◆1690（元禄3）—			
1・—	寅の日、5代光冨が毘沙門天に願文を捧げる		
◆1692（元禄5）—			
			●『人倫訓蒙図彙』に菓子師、飴師ほかの図あり
◆1693（元禄6）—			
			●『買物調方三合集覧』に江戸の菓子屋として桔梗屋土佐・松屋山城ほか、下り京菓子屋の名あり
◆1695（元禄8）—			
11・—	現存最古の菓子絵図帳「御菓子之畫圖」＊あり		
◆1696（元禄9）—			
	●『茶湯献立指南』に虎屋のきんとんほかの記述あり		

＊は虎屋黒川家文書

◆1697（元禄10）—		
1・— 『茶湯評林』に虎屋の記述あり		
1・28 伏見宮邦永親王が吉良上野介義央に虎屋の菓子を届ける		●『本朝食鑑』刊行
◆1700（元禄13）—		
1・3 4代光清没、5代光冨相続		
4・13 徳川光圀が中院通茂に古稀の祝いとして虎屋の饅頭を贈る		
◆1701（元禄14）—		
●当時の禁裏御用商人を書き上げた「御出入商人中所附」＊に虎屋・二口屋の名あり		
◆1702（元禄15）—		
◆1704（元禄17・宝永元）—		12・14 赤穂浪士の討ち入り
◆1705（宝永2）—		●両国の小松屋が幾世餅を売り出す（『続江戸砂子温故名跡志』）
11・13 『妙法院日次記』に「御菓子虎屋可宜事」の記述あり		
◆1707（宝永4）—		
5・— 「御菓子之畫圖」＊に寒天を使った菓子「氷室山」がみえる		11・23 富士山大噴火
◆1710（宝永7）—		
5・21 尾形光琳が中村内蔵助に虎屋の菓子を贈る		
◆1712（正徳2）—		
◆1714（正徳4）—		●『和漢三才図会』に外郎、羊羹ほか菓子解説多数あり
6・— 江戸久保町に出店		
◆1715（正徳5）—		
1・— 江戸から撤退		
◆1716（正徳6・享保元）—		
3・25 5代光冨没、6代房寿相続		8・13 享保の改革始まる
◆1717（享保2）—		●山本屋が江戸長命寺門前で桜餅を売り出す

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1718（享保3）			
◆1720（享保5）			●『古今名物御前菓子秘伝抄』刊行
◆1725（享保10）			●『長崎夜話艸』にカステラほか、南蛮菓子名あり
	10・7　6代房寿が近江大掾に任ぜられる		
◆1731（享保16）			
	10・―　近衛家熙が栗粉餅を虎屋に注文（『槐記』）		
◆1735（享保20）			
	12・17　6代房寿没、7代迪光相続		
◆1754（宝暦4）			
◆1757（宝暦7）			●『日本山海名物図会』に道明寺糒など菓子原材料の製造風景あり
	5・3　7代迪光没、8代光治相続		
◆1761（宝暦11）			
◆1763（宝暦13）			●『古今名物御前菓子図式』刊行
◆1767（明和4）			
			7・―　平賀源内『物類品隲』に甘蔗栽培・砂糖製法あり
	2・17　8代光治が近江大掾に任ぜられる		
◆1771（明和8）			
			●江戸で寡婦おたよが餅（後の大福）を売り出す（『宝暦現来集』）
◆1775（安永4）			
			●京都で上菓子屋仲間結成
◆1776（安永5）			
	●現在のパッケージデザインのもととなった蒔絵の虎が描かれた雛井籠がつくられる（現存）		

＊は虎屋黒川家文書

◆1777（安永6）—		
12・— 上菓子屋仲間に加入		●この頃、『評判江戸自慢』など、江戸名物を記した評判記が多数刊行
◆1779（安永8）—		11・25 光格天皇即位
◆1782（天明2）—		
3・16 8代光治没、9代光利相続		5・— 豆腐の料理法100種を解説した『豆腐百珍』刊行
6・8 9代光利が近江大掾に任ぜられる		●天明の大飢饉始まる
◆1787（天明7）—		6・— 寛政の改革始まる
◆1788（天明8）—		
1・30 天明の大火で御所・虎屋罹災		1・30 京都で天明の大火（上菓子屋仲間休止）
◆1789～1801（寛政年間）—		●この頃、江戸で煉羊羹が売り出される（『北越雪譜』ほか）
◆1801（寛政13・享和元）—		●上菓子屋仲間再興
◆1804（享和4・文化元）—		●川端道喜『家の鏡』に店の歴史を記す
◆1805（文化2）—		
10・18 9代光利が菓子屋店員の心がけを「掟書」＊に記す		●船橋屋が亀戸天神でくず餅を売り始める ●十返舎一九『餅菓子即席手製集』刊行
◆1809（文化6）—		
7・— 9代光利が「店員役割書」＊をつくる		
◆1810（文化7）—		
1・— 寅の日、9代光利が毘沙門天に願文を捧げる		
◆1814（文化11）—		
4・18 10代光廣が毘沙門天に願文を捧げる		
◆1816（文化13）—		
3・— 9代光利隠居、10代光廣相続		
3・19 10代光廣が近江大掾に任ぜられる		

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1817（文化14）			
◆1818（文化15・文政元）		3・22	仁孝天皇即位
	●この頃、二口屋と同居を始める		
◆1822（文政5）			
◆1824（文政7）		2・—	江戸の料理屋八百善が『料理通』の刊行開始
	4・— 二口屋が大丸から銀子を借用、沽券・株式を買い戻して自立する		●『江戸買物独案内』に120軒の菓子屋名あり
◆1834（天保5）			
◆1836（天保7）			●石川屋本舗（現花園万頭）創業
◆1838（天保9）			●『浪華家都東』刊行、木版彩色の菓子絵図あり
	5・11 9代光利没		
◆1839（天保10）			
	10・18 12代光正誕生		
◆1840（天保11）			
	3・4 11代光寶が近江大掾に任ぜられる		●『古今新製菓子大全』刊行
	3・5 10代光廣隠居、11代光寶相続		
◆1841（天保12）			
	5・21 10代光廣没		5・15 天保の改革始まる（株仲間禁止令により上菓子屋仲間解散）
			●『菓子話船橋』刊行
◆1844（天保15・弘化元）			
	●この頃、二口屋の経営権を取得		
	7・21 11代光寶没、12代光正相続		
	●11代光寶の弟政太郎が二口屋を相続		
◆1853（嘉永6）		6・3	ペリーが浦賀に来航

◆1854（嘉永7・安政元）		
4・6　嘉永の大火により罹災		3・3　日米和親条約締結
●12代光正の庶兄光保が二口屋を相続		●上菓子屋仲間再結成
◆1857（安政4）		
		●井筒屋（現榮太楼總本鋪）創業
◆1858（安政5）		
		6・19　日米修好通商条約締結
◆1860（安政7・万延元）		
6・16　和宮の月見の儀式に際し、月見饅頭を納める		3・3　桜田門外の変
		10・18　和宮降嫁勅許
◆1862（文久2）		
		●『古今新製名菓秘録』刊行
◆1863（文久3）		
3・4　14代将軍徳川家茂上洛に際し、御用を承る		
◆1864（文久4・元治元）		
11・8　13代光正誕生		7・19　蛤御門の変
◆1866（慶応2）		
7・5　12代光正が近江大掾に任ぜられる		
◆1867（慶応3）		
		1・9　明治天皇即位
		10・14　大政奉還
◆1868（慶応4・明治元）		
9・―　光保が明治天皇の東京行幸に同行		●明治維新
9・27　光保が明治天皇東京行幸途中で、名古屋のつくは祢屋の菓子調進に川端道喜とともに立ち会う		●上菓子屋仲間廃止、菓子屋仲間結成（虎屋ほか禁裏御用菓子屋は未加入）
◆1869（明治2）		
3・26　光保が神田小川町安部勘十郎屋敷に出張所を開設（後に伝奏屋敷を経て南槙町へ移転）		3・7　東京遷都
		●文英堂（現木村屋總本店）創業、パンを製造販売
		●この頃、幕府御用菓子屋の大久保主水・鯉屋山城・金沢丹後や名店の鈴木越後ら閉店

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1871（明治4）			
2・9	14代光景誕生	7・14	廃藩置県
◆1873（明治6）		1・1	太陽暦使用開始
			●『万宝珍書』に9種類の洋菓子の製法あり
◆1874（明治7）			
			●木村屋があんぱんを売り出す
◆1876（明治9）			
	●光保没、長男茂太郎が光保を名乗り東京出張所相続		
◆1877（明治10）			
		2・15	西南戦争始まる
		8・21	第1回内国勧業博覧会が東京で開催
◆1878（明治11）			
3・15	12代光正が上京（～4・10）		
9・16	12代光正が上京（～10・6）		
◆1879（明治12）			
3・25	12代光正が京都より京橋区元数寄屋町4丁目1番地へ移住、店舗を開設（9・14に赤坂区赤坂表2丁目1番地へ移転）		
◆1883（明治16）			
3・17	12代光正隠居、13代光正相続		
◆1885（明治18）		11・28	鹿鳴館開館
◆1888（明治21）			
6・2	12代光正没	10・27	宮城（皇居）落成
◆1889（明治22）		2・11	大日本帝国憲法発布
		7・1	菓子税施行
		12・22	伊藤博文が初代総理大臣となる

◆1891（明治24）

●東京の生菓子業者が濃尾大地震に際し同業者へ義援金を送る

◆1893（明治26）

3・5　15代武雄誕生（福田恭敬の四男）

◆1894（明治27）

7・25　日清戦争始まる

◆1895（明治28）

4・1　第4回内国勧業博覧会が京都で開催

4・―　内国勧業博覧会で嘉祥菓子を販売

6・―　赤坂区赤坂裏3丁目9番地（後の伝馬町、現東京工場所在地）に店舗を移転

◆1896（明治29）

4・6　菓子税廃止

5・2　はじめて新聞広告を出す（粽）

◆1899（明治32）

8・15　森永商店（現森永製菓）創業

2・7　黒川小谷合名会社を設立

7・11　13代光正隠居、14代光景相続

◆1901（明治34）

●中村屋創業

◆1903（明治36）

●この頃、舟和がみつ豆を考案

◆1904（明治37）

2・8　日露戦争始まる

◆1908（明治41）

11・18　東京菓子同業組合結成

◆1909（明治42）

●浪花家が鯛焼を売り出す

◆1911（明治44）

4・10　第1回帝国菓子飴大品評会（後の全国菓子大博覧会）が東京で開催

1・9　14代光景夫妻が福田武雄（15代）と養子縁組

◆1912（明治45・大正元）

1・27　東京菓子業同盟会結成

7・30　明治天皇崩御、大正天皇即位

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1914（大正3）—		7・28	第一次世界大戦始まる
◆1917（大正6）—		3・15	ロシアロマノフ王朝滅亡（2月革命）
11・5	15代武雄が14代光景長女算子と結婚	11・7	ロシア社会主義連邦ソビエト共和国成立（10月革命）
◆1918（大正7）—			
3・—	「御菓子見本帖」を作成	3・26	東京菓子業同盟会解散
6・—	第1回店員慰労旅行（江ノ島・鎌倉）	11・11	第一次世界大戦終結
7・24	16代光朝誕生		
◆1919（大正8）—			
2・20	15代武雄が第一銀行を退職、4月に虎屋に入店	6・28	ベルサイユ講和条約調印
◆1922（大正11）—			
	●富岡鉄斎に京都店の離れと茶室を仮住居として提供	2・11	江崎グリコ創業
			●この頃、若松があんみつを考案
◆1923（大正12）—			
9・1	関東大震災。住宅・御用場は被害を免れる。家族・店員ら全員無事	9・1	関東大震災
◆1924（大正13）—		12・—	東京菓子同業組合大震災救済会が贈られた義援金を分配
5・14	自動車（フォードトラック）をはじめて購入、配達などに活用		
	●この頃、店頭での販売、丸の内周辺の会社・個人向け営業を開始		
◆1925（大正14）—			
1・—	この頃、店員15名	7・12	ラジオ本放送開始
4・—	ダイレクトメール送付を開始		
◆1926（大正15・昭和元）—			
4・—	「ゴルフ最中」考案（現「ホールインワン」）	12・25	大正天皇崩御、昭和天皇即位
◆1927（昭和2）—			
6・17	懐中汁粉「小鼓」発売	3・15	金融恐慌始まる
	●群馬県利根郡農会に白小豆の栽培を委託	12・30	上野—浅草間に日本初の地下鉄が開通

◆1928（昭和3）	
	2・20　普通選挙制による初の衆議院議員選挙
◆1930（昭和5）	
4・25　小形羊羹発売	
	5・―　ニューヨーク発の世界恐慌、日本に波及
◆1931（昭和6）	
	9・18　満州事変始まる
◆1932（昭和7）	
4・3　赤坂区表町2丁目16番地（現赤坂店の向い側）の新店舗に移転（表町店）	
11・12　社員から御勅題菓子（現御題菓子）の図案の募集を始める	
	5・15　五・一五事件
◆1933（昭和8）	
6・―　14代光景が帝都菓子商組合連合会顧問となる	
12・1　和三盆糖製「シイハイル」発売	
	3・27　日本が国際連盟脱退
◆1935（昭和10）	
●この頃、店員50余名	
	6・27　帝都菓子商組合連合会結成
◆1936（昭和11）	
12・1　京都店支配人の正弘が松坂屋名古屋店に出店（昭15　退店）	
●西川あさ子入店（初の女子店員）	
	2・26　二・二六事件
◆1937（昭和12）	
	7・7　日中戦争始まる
◆1938（昭和13）	
3・1　15代武雄が京都店を統合	
3・8　京都店寄宿舎完成	
4・1　和三盆糖製「京の山」発売	
4・27　伝馬町の旧店舗跡地に御用場（工場）・寄宿舎完成	
10・1　広報誌『お菓子たより』創刊（～昭15）	
	4・1　国家総動員法公布
◆1939（昭和14）	
3・15　15代武雄が伝馬町御用場内に私立虎屋青年学校を開校	
4・―　女子店員5名入店、女子寮を開設	
9・17　砂糖不足のため夜間営業を休止する	
●京都店店舗改築	
	9・1　第二次世界大戦始まる

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1940（昭和15）			
2・1	14代光景隠居、15代武雄相続	4・19	東京生菓子工業組合結成、菓子原材料の配給を行う
9・2	京都で代用食「興亜饅」発売（11月には東京でも発売）	8・16	菓子の公定価格制を実施
			●日本菓子工業組合連合会結成（現全国菓子工業組合連合会）
			●砂糖・マッチの配給統制開始
◆1941（昭和16）			
4・4	海軍監督工場となる	12・8	真珠湾攻撃、太平洋戦争始まる
7・—	虎屋産業報国会を結成		
◆1942（昭和17）			
5・14	16代光朝が堤芳子と結婚	6・5	ミッドウェー海戦
11・5	東京店に対し、免税糖使用許可が下りる（昭19・2・17　京都店にも）		●砂糖入手困難となり、菓子業界は壊滅状態となる
11・30	16代光朝が国際文化振興会を退職、文部省美術研究所の助手となる		
◆1943（昭和18）			
7・15	15代武雄が随筆集『母を亡くして』を出版		●甘味嗜好品の全面禁止
9・17	17代光博誕生		
◆1944（昭和19）			
3・—	この頃、店員70名（うち女子39名）	8・1	砂糖の家庭用配給中止
7・—	15代武雄が東京都菓子工業統制組合理事長に就任		
8・8	13代光正没		
◆1945（昭和20）			
5・25	伝馬町工場・黒川家私邸、空襲で焼失（仮設工場を建設）	8・15	第二次世界大戦終結
◆1946（昭和21）			
1・25	御用の差し止めと宮内省御用菓子納入組合の解散を申し渡される	11・3	日本国憲法公布
3・—	15代武雄が御用差し止めの撤回を求めて宮内大臣に歎願書を提出		
3・31	16代光朝が文部省美術研究所を退職、虎屋に入店（4・1）		
5・15	株式会社茜設立		
5・25	日本橋みかく開店		
7・11	銀座茜開店		

7・24　三軒茶屋あかね開店（昭23　閉店）
8・10　経営不安のため、約2ヶ月間休業
●京都三条京極などに喫茶店を開店

◆1947（昭和22）
2・4　東京パン類委託加工組合に加入、パン製造開始
2・―　銀座茜を閉店、虎屋銀座店とする（3・5）
4・20　15代武雄が東京都選出の参議院議員に当選
5・24　虎屋商工株式会社設立、16代光朝が代表取締役社長に就任

◆1948（昭和23）
5・31　社名を株式会社虎屋に変更
7・31　日本橋みかくを閉店、虎屋日本橋店とする（9・29）
11・15　輸出用缶詰羊羹の製造を開始

◆1949（昭和24）
6・2　第1回東京店開祖記念日

◆1950（昭和25）
2・15　15代武雄が東京和生菓子商工業協同組合理事長に就任
6・28　15代武雄が第3次吉田内閣の厚生大臣に任命される（～昭26・7・4）
6・―　15代武雄が全国和菓子協会会長に就任

◆1951（昭和26）
2・9　16代光朝が日本青年会議所初代会頭に就任
12・20　15代武雄が随筆集『空の旅』を出版
12・―　白小豆入羊羹「空の旅」発売

◆1952（昭和27）
3・25　銀座店新装開店（喫茶併設）
8・8　四条店を開設
●この頃、中棹羊羹（現竹皮包羊羹）・並棹羊羹（現中形羊羹）発売

◆1953（昭和28）
1・31　新丸ビル店を開設
5・3　15代武雄が緑綬褒章を賜る
11・16　伝馬町工場改築（東京工場）

4・20　第1回参議院議員選挙
1・26　帝銀事件
11・3　湯川秀樹がノーベル物理学賞受賞決定
2・15　東京和生菓子商工業協同組合結成
6・25　朝鮮戦争始まる
6・―　全国和菓子協会結成
9・8　サンフランシスコ講和条約調印
4・1　砂糖統制撤廃
5・20　第12回全国菓子大博覧会が横浜で開催（戦後初）
2・1　NHKがテレビ放送開始

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1954（昭和29）			
12・22	和三盆糖製「京の香」発売		
◆1955（昭和30）			
4・1	15代武雄が生菓子信用組合の初代理事長に就任	4・1	生菓子信用組合発足
5・20	羽田空港売場開設（現羽田空港東京食賓館売店）		
11・20	15代武雄が随筆集『母を憶ふ』を出版		
◆1956（昭和31）			
		12・18	国際連合に加入
			●神武景気始まる
◆1957（昭和32）			
2・28	15代武雄が随筆集『新・空の旅』を出版		
4・29	葉緑素・ビタミン入羊羹「新緑」を厚生省許可特殊栄養食品として発売（現抹茶羊羹）	1・29	南極に昭和基地を設営
		10・1	日本が国連安保理非常任理事国に当選
6・12	14代光景没		
◆1958（昭和33）			
5・10	15代武雄が随筆集『羊羹と人生』を出版	2・—	メリーチョコレートがバレンタイン用チョコレートを発売
11・27	御勅題菓子の販売復活を決定、社員より図案を募集	12・23	東京タワー完成
◆1959（昭和34）			
		4・10	皇太子明仁親王（今上天皇）ご成婚
◆1960（昭和35）			
11・28	京都工場稼働	2・23	浩宮徳仁親王（現皇太子）ご誕生
		9・10	カラーテレビ放送開始
◆1962（昭和37）			
5・29	池袋売店開設（現東武売店）		
7・11	「水羊羹」発売（プラスチック容器入）		
10・2	三越売場開設（現日本橋三越売店）		
10・2	伊勢丹売店開設（新宿）		
10・19	大丸売店開設（東京）	10・22	キューバ危機

11・23　横浜店開設（後の横浜シアル売店、平14　退店）

◆1963（昭和38）

1・31　東京オリンピック開催に伴う道路拡張のため、表町店取り壊し
3・5　上野松坂屋売店開設
6・23　「コーヒー羊羹」発売（現小形羊羹「珈琲」）
11・3　15代武雄が藍綬褒章を賜る
11・6　名古屋売店松坂屋売場開設（現名古屋松坂屋売店）
11・8　名古屋売店名鉄売場開設（現名鉄売店）

◆1964（昭和39）

5・1　西武売店開設（現池袋西武売店）
5・20　新宿店開設（現新宿マイシティ売店）
5・30　銀座松屋売店開設
6・12　東横売店開設（渋谷）
9・1　池袋売店開設（池袋ショッピングパーク内、平2　退店）
9・9　赤坂本社ビル（現本社ビル本館）竣工、赤坂店開店（喫茶併設）
11・28　大阪阪急売場開設（現梅田阪急売店）
12・10　15代武雄が随筆集『続羊羹と人生』を出版

◆1965（昭和40）

4・29　15代武雄が勲一等瑞宝章を賜る
6・1　大阪大丸売場開設（現心斎橋大丸売店）
6・13　東急売店開設（渋谷、後の東急プラザ売店、昭56　退店）
6・20　高島屋売店開設（現日本橋高島屋売店）
10・5　新宿三越売場開設（現売店）
11・23　銀座松坂屋売店開設

◆1966（昭和41）

6・14　群馬農場開設
9・9　小田急売店開設（新宿、後の小田急別館売店、平14　退店）
11・25　数寄屋橋阪急売店開設（昭54　退店）
12・10　中野売店開設（昭42　退店）

●チョコレートが菓子売り上げ高の首位となる

10・1　東海道新幹線開通（東京―新大阪間）
10・10　東京オリンピック開催

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1967（昭和42）—			
5・23	京都大丸売場開設（現売店）		
6・1	名鉄メルサ売店開設（平4　退店）	2・—	東京和菓子会館落成
11・25	目黒駅売店開設（現ヒルトップガーデン目黒売店）		●日本の総人口が1億人を突破
	●池袋三越売場開設（現売店）		
	●銀座三越売場開設（現売店）		
◆1968（昭和43）—			
1・20	15代武雄が随筆集『新羊羹と人生』を出版	12・10	三億円事件
4・19	渋谷西武売店開設（平13　退店）		
6・20	和三盆糖製「推古」発売		
7・26	小田急売店開設（新宿、現小田急本館売店）		
◆1969（昭和44）—			
2・28	日本橋東急売店開設（平11　退店）	7・20	アポロ11号月面着陸
8・1	17代光博が富士銀行を退職、虎屋に入社（10・31　取締役副社長に就任）		
9・10	東京工場竣工		
11・10	玉川髙島屋売店開設（現二子玉川髙島屋SC売店）		
12・2	吉祥寺駅売店開設（現吉祥寺ロンロン売店）		
◆1970（昭和45）—			
3・3	貿易センタービル売店開設（浜松町、昭47　退店）	3・14	日本万国博覧会が大阪で開催
6・19	千葉そごう売場開設（現売店）		
9・18	東急本店売店開設（渋谷）		
◆1971（昭和46）—			
4・2	浅草松屋売店開設		
5・7	新宿京王売店開設（現京王売店）		
8・20	15代武雄が随筆集『新々羊羹と人生』を出版		
◆1972（昭和47）—			
10・10	ニューナラヤ売場開設（現千葉三越売店）	2・3	札幌冬季オリンピック開催
		5・15	沖縄返還

◆1973（昭和48）
2・19 虎屋文庫開設
4・11 赤坂本社ビル新館竣工
4・14 銀座店リニューアルオープン（12・19 菓寮併設）
7・3 大阪高島屋売場開設（現難波高島屋売店）
11・23 横浜三越売場開設（現売店）

◆1974（昭和49）
4・28 横浜高島屋売場開設（現売店）
10・10 神戸そごう売場開設（現売店）

◆1975（昭和50）
2・1 毘沙門天（京都店毘沙門天の模刻）、京都市上京区の萬松寺より本社ビルへご遷座、開眼供養
3・8 15代武雄没、同日付で正三位に叙せられる
5・22 16代光朝が東京和生菓子商工業協同組合理事長に就任
6・21 16代光朝が全国和菓子協会会長に就任

◆1976（昭和51）
3・10 新宿ルミネ売店開設（昭53 退店）
7・31 16代光朝が紺綬褒章を賜る
9・23 京都高島屋売店開設

◆1978（昭和53）
9・1 御殿場工場竣工
10・5 阪神売場開設（現梅田阪神売店）
10・10 お汁粉「小鼓」発売
10・28 16代光朝が随筆集『菓子屋のざれ言』を出版
11・17 新青山ビル店開設（菓寮併設）

◆1979（昭和54）
4・17 17代光博が吾妻由紀子と結婚
4・27 一条店（旧京都店）を烏丸通一条角に移転（菓寮併設）
6・1 喫茶部門の名称を菓寮に統一（価格も統一）

10・— 第1次オイルショック

●戦後初のマイナス成長
●菓子類の生産額が年間1兆円を超す

2・4 ロッキード事件発覚
●「およげ！たいやきくん」空前のヒット

5・20 成田市に新東京国際空港開港

1・— 第2次オイルショック
2・3 パリ国際菓子見本市（インターサック）に和菓子出品
4・1 東京和生菓子商工業協同組合と中央区生菓子組合が合併
6・16 第1回「和菓子の日」

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1980（昭和55）—			
3・11	トラヤフランス設立		
7・23	御殿場店開設（菓寮併設）	3・14	第1回ホワイトデー（全国飴菓子工業協同組合による）
			●日本車生産台数世界一
10・6	パリ店開設		
◆1981（昭和56）—			
4・1	半生菓子詰合せ「京の甍」発売		
6・2	京都工場改築、菓寮移転		
◆1982（昭和57）—			
1・1	17代光博が日本青年会議所会頭に就任		
1・20	中国技術研修生の受け入れを開始	6・23	東北新幹線開通（大宮―盛岡間）
		11・15	上越新幹線開通（大宮―新潟間）
4・8	株式会社虎玄設立		
6・14	16代光朝が写真集『京都の四季』を出版		
11・3	16代光朝が明治神宮菓道敬神会会長に就任		
◆1983（昭和58）—			
1・20	湿粉製棹物発売		
10・3	16代光朝がパリにて写真展「京都の四季」開催	4・15	東京ディズニーランド開園
◆1984（昭和59）—			
7・11	16代光朝が随筆集『続菓子屋のざれ言』を出版	11・1	新紙幣発行
8・1	パリ店にて「羊羹de巴里」発売（10・6 日本でも発売）		
◆1985（昭和60）—			
9・30	横浜そごう売店開設（菓寮併設）	5・17	男女雇用機会均等法成立
			●新宿の玉屋がいちご大福を発売
11・1	虎屋第2ビル（東京工場含む）竣工		
11・3	16代光朝が藍綬褒章を賜る		
11・28	16代光朝が全日本菓子協会副会長就任		
◆1986（昭和61）—			
1・1	赤坂店の元旦早朝営業開始		
9・10	16代光朝が写真集『京都の四季　続』を出版		
10・10	名古屋三越売店開設	11・15	伊豆大島の三原山噴火

◆1987（昭和62）

4・15　季節の羊羹「星兜」発売
7・7　四条店移転（菓寮併設）

◆1988（昭和63）

1・2　御殿場地区限定商品「四季の富士」発売
10・31　赤坂店リニューアルオープン
11・10　赤坂店虎屋菓寮リニューアルオープン

◆1989（昭和64・平成元）

3・3　16代光朝が写真集『フランスあちこち　その1』を出版

◆1990（平成2）

2・21　季節の羊羹「新重絹」発売
2・23　トラヤアメリカ設立
8・15　京都工場増築（関西流通センター稼働）
9・29　パリ店10周年記念イベント実施（～10・14）
11・3　16代光朝が勲四等旭日小綬章を賜る
11・19　16代光朝没

◆1991（平成3）

2・19　17代光博が代表取締役社長就任
5・23　17代光博が東京和生菓子商工業協同組合副理事に就任
6・1　育児休業制度を新設
11・19　故16代光朝の写真集『京都の四季・フランスあちこち　完結編』を出版

◆1992（平成4）

1・23　2001年虎屋ビジョン発表
4・1　和三盆糖製「五色糸」発売
4・1　虎屋厚生年金基金開設

◆1993（平成5）

3・4　町田小田急売店開設
4・27　ニューヨーク店開設（平15　退店）
9・9　新御殿場工場竣工

4・1　JR発足
3・13　青函トンネル開業
4・10　瀬戸大橋開通
1・7　昭和天皇崩御、今上天皇即位
4・1　消費税実施（3パーセント）
8・2　湾岸戦争始まる
●株価暴落によりバブル経済崩壊へ
4・1　牛肉・オレンジ輸入自由化
6・9　皇太子徳仁親王ご成婚

月・日	当社事項	月・日	業界・一般事項
◆1994（平成6）—			
2・1	環境保全委員会発足		
3・31	虎屋文庫が機関誌『和菓子』創刊		
4・1	御殿場地区限定季節の羊羹「千里の風」発売		
4・7	船橋東武売店開設		
4・13	八王子そごう売店開設		
4・22	トラグッズ販売開始		
6・1	京都地区限定桃山製「雲居のみち」発売		
6・9	浦和伊勢丹売店開設	6・22	製造物責任法（PL法）成立
◆1995（平成7）—			
3・1	立川高島屋売店開設	1・17	阪神・淡路大震災
8・—	小冊子『今なら間に合う環境保全』作成		
11・1	あん焼「こがねぎく」発売		
◆1996（平成8）—			
1・18	株式会社ヒロ・エンタープライズ設立	12・18	ペルー日本大使公邸事件
2・16	季節の羊羹　中形「雛衣」発売		
3・29	日本料理店金扇（現きんせん）の営業権を取得し、経営を始める		
4・3	府中伊勢丹売店開設		
5・24	阿倍野近鉄売店開設		
10・4	新宿高島屋売店開設		
◆1997（平成9）—			
7・19	パリ店リニューアルオープン	4・1	消費税率5パーセント
8・11	環境保全活動により第6回「日食環境資源協力賞」を受賞	11・7	北海道拓殖銀行経営破綻
9・11	京都伊勢丹売店開設	11・24	山一證券自主廃業
◆1998（平成10）—			
1・1	トラ保護キャンペーン開始（～12・31）	2・7	長野冬季オリンピック開催
4・2	柏高島屋売店開設		
5・10	京都地区限定湿粉製棹物「京景色」発売		

5・11　ニューヨーク店5周年記念イベント実施（～5・16）	
9・1　季節の羊羹　中形「千歳菊」発売	
10・1　おにぎり屋ライスブレイク開設（平14　閉店）	
◆1999（平成11）―	
4・1　季節の羊羹　中形「菖蒲あわせ」発売	
5・19　大宮そごう売店開設	
5・21　17代光博が東京和生菓子商工業協同組合副理事長に就任	
7・6　17代光博が全国和菓子協会副会長に就任	
10・1　ネットワーク（LAN）導入	
10・1　ホームページ開設	
10・1　季節限定煉菓子「栗ごよみ」発売	
11・1　お客様相談センターにCTIシステム導入	
◆2000（平成12）―	
3・15　名古屋高島屋売店開設	
6・10　「嘉祥蒸羊羹」発売	
11・15　とらやオンラインショップ開設	
◆2001（平成13）―	
1・24　立川伊勢丹売店開設	9・11　アメリカで同時多発テロ
1・25　姫たちの雛まつりイベント開催（～3・3）	12・1　敬宮愛子内親王ご誕生
2・1　虎屋Vビジョン発表	
3・4　季節の羊羹　中形「桜の里」発売	
4・13　御殿場工場ISO14001認証取得	
6・17　季節の羊羹　中形「青梅の露」発売	
10・5　御殿場工場汁粉製造ラインHACCP取得	
11・1　双羊羹「阿波の風」「香る葉」発売	
◆2002（平成14）―	
7・25　季節の羊羹　中形「青柚の香」発売	1・1　ヨーロッパで単一通貨ユーロへ切替
8・12　環境報告書『環境保全への取り組み』初版発行	5・31　サッカーワールドカップ日韓共同開催
9・26　たまプラーザ東急売店開設	

●「だんご3兄弟」ヒット

月・日	当社事項
◆2003（平成15）	
1・—	花豆入蒸羊羹「寒中の華」発売
3・1	虎玄とヒロ・エンタープライズ合併
3・1	京都虎屋菓寮リニューアルオープン
4・25	TORAYA CAFÉ開設
6・24	虎屋総合研究所竣工
9・16	虎屋 WAGASHI・HAUTE COUTURE始まる

月・日	業界・一般事項
3・20	イラク戦争始まる
4・25	六本木ヒルズオープン